

§ 協会の動き(令和元年9・10・11月分)

★ 災害復旧対策講習会を開催

[事故防止対策委員会事業]

C P D認定プログラム

9月5日(木)、防災体制づくりの参考とするため3部構成による災害復旧対策講習会を建産連研修センターで開催。震災被災者の貴重な体験などを教訓に、来るべき大規模災害に備える防災知識を会員内で共有しました。

開催にあたり岡村会長は「災害は大地震、豪雨、富士山の噴火なども考えられます。災害の際、どのように減災すればよいかを常日頃考えなければなりません。協会では県と災害時の応急復旧対策に関する協定を締結し、体制づくりに取り組んでいるところです。今日の講習会を災害対応の参考としていただければ」とあいさつしました。



[第 1 部]

『埼玉県の防災体制について』

埼玉県 危機管理防災部 消防防災課

災害対策担当 内野明徳氏



[第 2 部]

『震災を経験して分かった課題と準備』

(一社) 熊本県電設業協会 理事

九州電設㈱ 代表取締役会長

穴井憲義氏



[第 3 部]

『シーマップ リアルタイム被害予測について』

あいおいニッセイ同和損保㈱

埼玉支店 課長 細川忠昭氏

★ 第1回技術講習会を開催

[技術研究委員会事業]

C P D認定プログラム

9月13日(金)建産連研修センターで、協会会員の電気技術・施工工事部門等担当社員及び埼玉県、市町村等の電気技術系職員を対象に技術講習会を開催しました。

本年6月に当協会より埼玉県へ今回の講習会の内容を含む『政策提言書』を提出しました。災害時の避難所において、過去の震災時に問題点とされた「避難場所での夜間照明等」に対応できるよう、調光機能付きの照明の設置を体育館等の避難所への整備のひとつとして提案し



ております。そこで本講習会の内容を、その最新情報についてお伝えする構成としました。

[第1部] タフロック講習会 「貫通部防火措置工法」を知る

ネグロス電工㈱市場開発一課 福元 直樹氏

[第2部] 避難所への調光機能付 LED 照明の提案と今後の商品展開

岩崎電気(㈱)照明事業企画推進部 川股 敦史氏

岩崎電気(㈱)商品企画開発部 小島 弘之氏

[第3部] 連用照明システム ネグレッツウェイについて

ネグロス電工㈱商品企画課 新川 祐吾氏

☆ 電気工事技術研修会を開催

10月23日(水)、県立川越高等技術専門校の生徒19人を対象に電気工事技術研修会を行いました。

川合副会長は「本日は、みなさんが学校で勉強していることを基に、場所を移して行う課外授業のような内容となります。社会で生かしてもらうために使われている材料や、仕事の工程を実際に勉強してもらう機会となります。貴重な体験となることを期待しております」とあいさつしました。



今回は、当協会賛助会員のネグロス電工㈱が所有している電設資材ショールーム(江東区東雲)にて資材の実物を見て説明を受け、研修室で工事現場の建築工程・電気工程を視聴、その後グループに分かれ、実際に現場で使用されている資材や工具を使った実技を行いました。

☆ 県庁オープンデーに出展

11月14日の県民の日にちなんだ県庁オープンデーが開催され、今年度も電気工事業を広く県民に知ってもらうため、「電気に親しもう!」と題して出展しました。県民の日は休みになる県内の学校も多いため、子供たちや家族連れなど多くの方々にお立ち寄りいただきました。

【広報委員会・人材育成委員会事業】



出展コーナーとして発電・工作を設置。発電コーナーでは、今年開催されたラグビーワールドカップにちなんで、県庁から会場の熊谷スポーツ文化公園までの地図に、自転車をこいで生まれる電力で点灯するLED電球を配置。時間内にゴールの熊谷まで4つのLED電球を点灯できた参加者には、ささやかなプレゼントをお渡しました。工作コーナーで

は太陽光で動くバッタを委員の手助けで工作。光を受けて動くバッタに歓声が上がり、ソーラー
システムを学びました。

たくさんのご来場ありがとうございました。